

“TASUC創業にあたって”2008年3月4日僕は、典型発達と同じように、発達障がいのある子どもたちにも、世の中の役に立つ存在になってもらって、本当の幸せを手に入れたらいいことを仕事に決めた。何で、挑戦する機会が与えられないんだ？みんな無知で無関心なら、私たちが世の中の光になって、ものすごい役に立つ存在になってしまえばいい。だって、やってみようじゃないか！努力することが取り柄の人、集まればできるかぎり良質な最新の療育を、障がいのある子どもたちに実行することによって障害が除去され、改善され、克服されるような事業に取り組む。その事業には、正しい理念が貫かれ、この世に新しい価値が想像され、ここに集った人々の自己実現を満たす。僕は、この確信を得て、たすく株式会社を興す。挑戦の機会と再挑戦の機会を創出しながら、やりがいある仕事に就かせてあげたい。そして、世の中の光となるよう努力を重ねよう。大したことじゃない、当たり前のことだ。みんなやっていることだ。だからただひたすらにこうして、毎日の子育てのお手伝いをする仕組み作りを死ぬまで続ける。ずっと一緒に！私、周囲に満ちる豊かな水源

私たちは、発達に凸凹のある子どもたちを支援する専門家集団です。子ども一人一人には個性があり、脳の特徴があります。そのため「理解が先」を合言葉にして、ご家族と専門家が一堂に会するアセスメントを必ず体験していただきます。凸凹の状態のお子様を理解するために、一年に一回、十分に時間をかけて、たすくが開発したアセスメントを実施すれば、お子様の個性や脳の特徴、そして才能をよりよく理解することができます。また、体系化されたTASUCのソフト(含Kaps)と構造的な目標)に基づいた療育、教育、支援をすることで、お子様の社会的自立のためのスキルを積み上げることができ、身辺自立から始め、コミュニケーション、教科、生活スキル、社会性の学習、論理力を培うまで、自ら学び、自ら改善し、自ら反省し、また挑戦する、自己学習学習者へと変わります。TASUCグループ、では、常に“ご家族と協働する”を合言葉にしてきました。子育ての期間をご家族と共に歩みながら、協働体制を築いていきます。それは成人後にお子様だけの力では難しい、住まいや就労の維持、地域生活、資金管理などのサポートを手厚くするためです。先に述べたように、お子様に適した、物的な資源を、共に選んでいくためです。意思決定する力を身につけ、自分のことは自分で守るよう育てる。無知は罪。保護者は子どものために学び、専門家と協働する。TASUCグループは、ご家族と協働してお子様を周囲に満ちる“豊かな水源”いざ、前人未踏のソーシャルインクルージョンにむかう10年。発達障がいのある子どもたち(チャリティ)と継続性のある支援体

義を貫き、世界の平和に貢献を立て、初心を貫き、周囲をたすくナビゲーターは、たすく々と共に、長い年月を懸けて築いてきました。たすくの魂に賛同した人々の志が積み重なったたすくナビゲーターは、平等に挑戦の機会がある自由で、希望に満ちた、愛があふれる人々の心を支え、勇気を湧かすおこし、正義と信念を貫く意志の強さや、世界平和に繋げるための秩序ある療育、教育、支援の実現に向けた、たゆまぬ努力を見守ってくださるでしょう。We are Happy!!Because We will be TASUC.忘れてはいけない、私たち一人一人が幸福であることが大切です。私たちは、この仕事に誇りを持ち、夢に向かって、失敗を恐れることなく、新たな挑戦を繰り返す専門家集団として、幸福溢るる生活を送ります。人々に安らぎと希望をもたすことは、私たちが元気で、幸せであることが大切です。We are Happy!!So We are TASUC!!

15th anniversary



たすくグループは2008年に創業し、2023年3月4日で15周年を迎えます。これまでのご家族とたすくスタッフの子育てに関する「協働」の歩みと「実践」を発表いたします。

令和5年 3月2日(木), 3日(金), 4日(土)

開催方法：オンライン (ZOOM)



3月2日(木)

9:30
開会の辞

10:00
TASUC個別療育・御成

13:00
TASUC個別療育・国立
TASUC個別療育・鹿児島

15:30
TASUC個別療育・札幌

18:00
閉会の辞

3月3日(金)

9:30
開会の辞

10:00
TASUC自立の学校・大船
TASUC自立の学校・中野坂上

13:00
TRYFULL・鎌倉

18:00
閉会の辞

3月4日(土)

9:30
開会の辞

10:00
TASUC個別療育・横浜

13:00
TASUC個別療育・豊橋
TASUC個別療育・国立

15:30
TASUC個別療育・早稲田

18:00
閉会の辞